

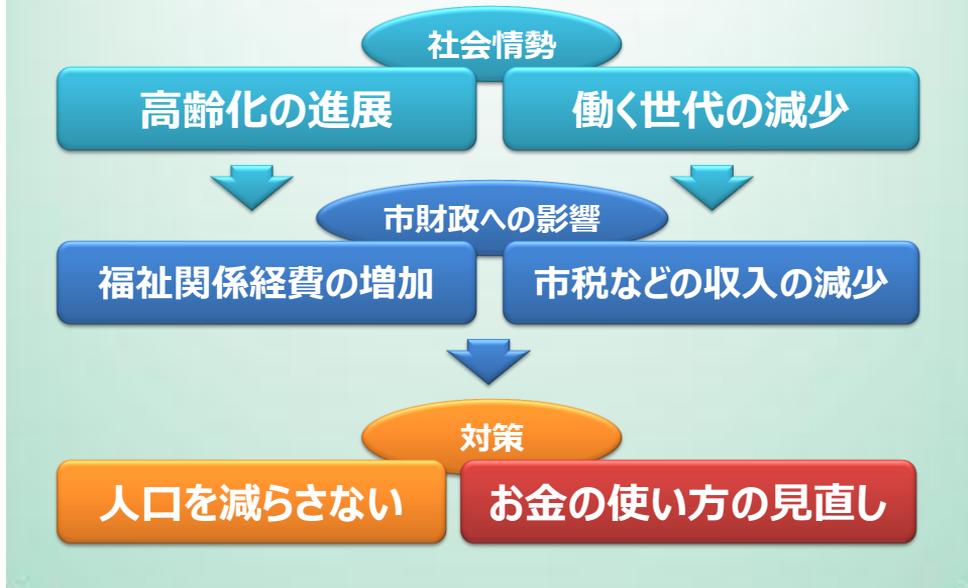
財政健全化の 取り組みについて

明石市

1 人口減少と少子高齢化の進展



1 人口減少と少子高齢化の進展



2 これまでの取り組み

(1) 人件費の削減

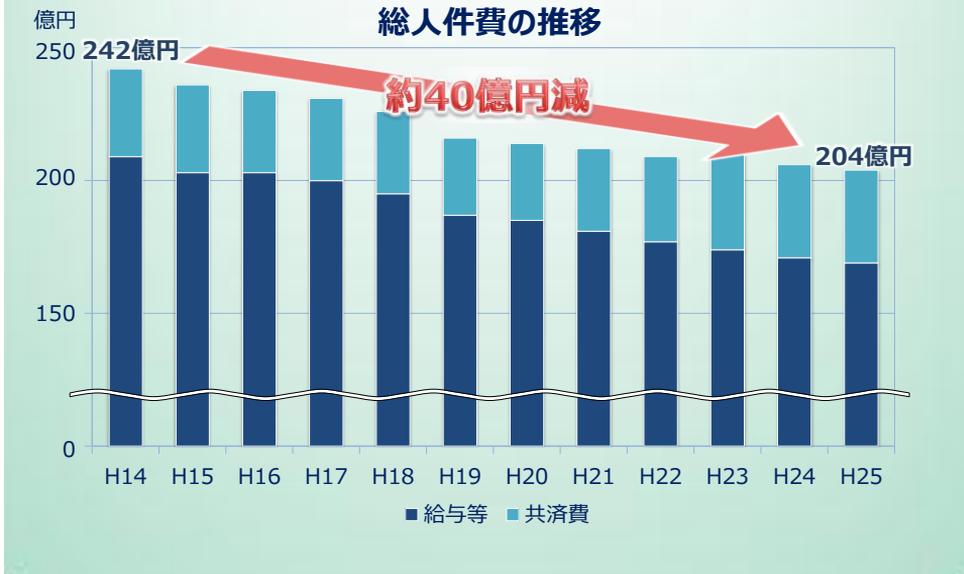
① 正規職員の削減

H14 2,531人→H25 1,997人 **約2割減**

② 職員給与の適正化

- ・市長の給料月額 30%引き下げ
- ・副市長の給料月額 16%引き下げ
- ・特別職の給料月額、議員報酬の引き下げ
- ・地域手当、住居手当の段階的な引き下げ
- ・特殊勤務手当の見直し
- ・退職手当の引き下げ 等

2 これまでの取り組み



2 これまでの取り組み

(2) 事務事業等の見直し、歳入の確保

① 民間の力の活用

市バス路線の民間移譲、民間委託・指定管理者制度

② 外郭団体等の見直し

土地開発公社の解散へ向けた取り組み

市民病院の地方独立行政法人への移行

③ 施設の見直し

魚住清掃工場、農業センター、伊川谷浄水場の廃止

④ 給付事業、補助金の見直し

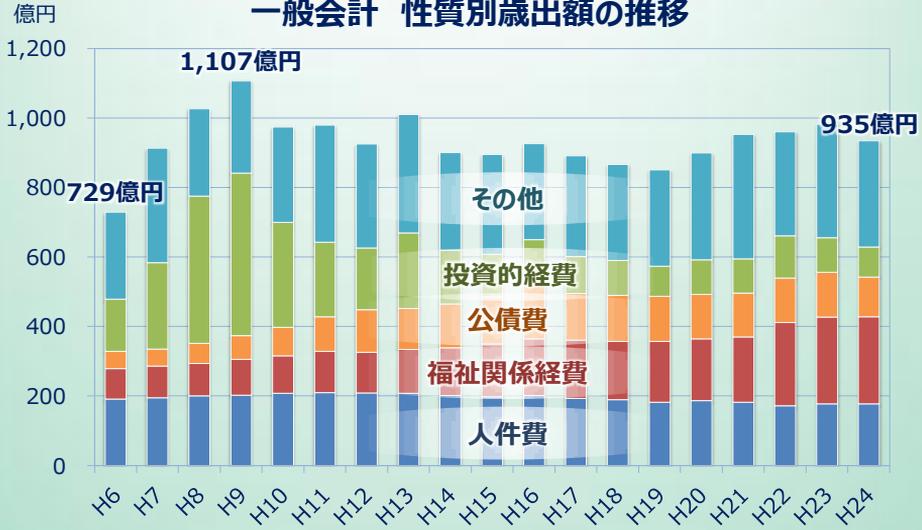
⑤ 歳入の確保

未収金対策強化、各種料金改定、市有地の売却

余剰電力の売却、広告収入の確保

3 財政状況の推移

一般会計 性質別歳出額の推移



3 財政状況の推移

福祉関係経費の推移



投資的経費の推移



3 財政状況の推移

- ・ 人件費の削減、投資的経費の抑制
- ・ 福祉関係経費の増加、阪神・淡路大震災の影響



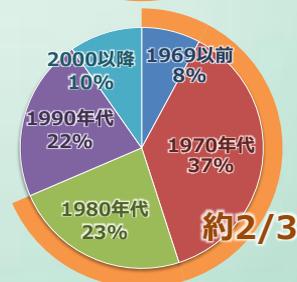
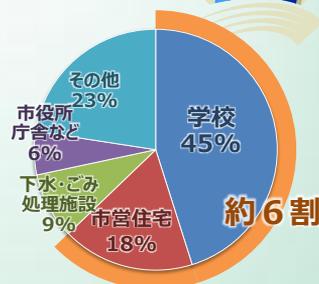
基金残高の減少 H7 174億円 → H24 70億円



4 新たな課題 公共施設

現在の状況

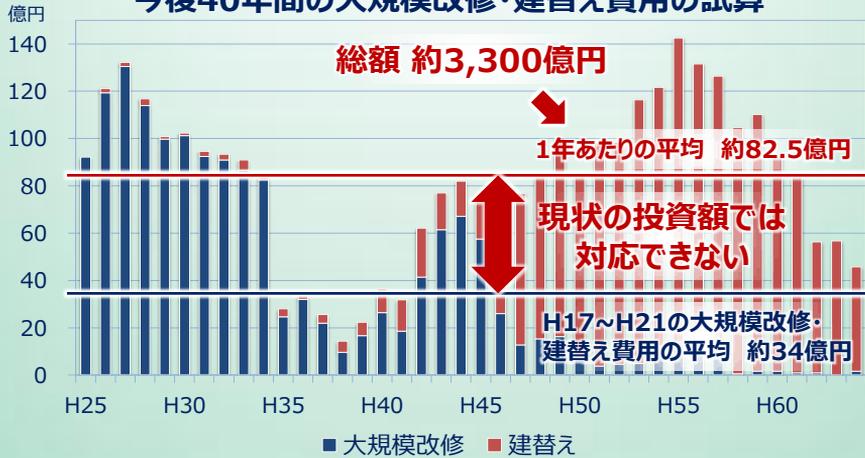
- ・ 市の公共施設 約300施設
延べ面積 約81万²m²
(甲子園球場20.5個分)
- ・ 学校と市営住宅で約6割
- ・ H元(1989)までに建築されたものが約 2/3
- ・ 33年で大規模改修、65年で建替が目安



4 新たな課題 公共施設

現在ある施設を全て維持しようとする

今後40年間の大規模改修・建替え費用の試算



5 今後の収支見込み

- ・ 歳入→大きな伸びは期待できない
- ・ 歳出→福祉関係経費の増加、明石駅前再開発、中学校給食実施経費、土地開発公社の廃止に伴う経費 等

対策を取らなかった場合の収支見込み



5 今後の収支見込み

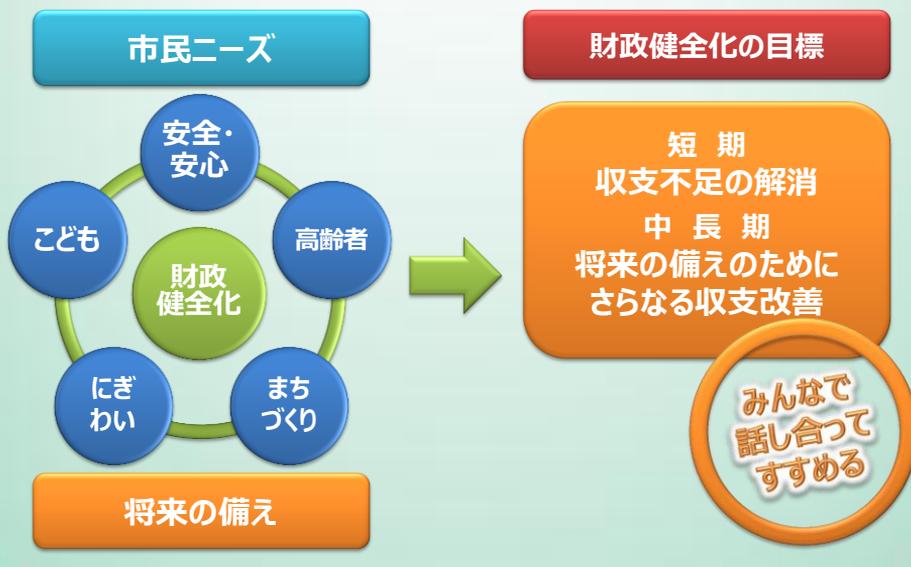
収支不足を基金で補おうとすると



現行の行政サービス水準を維持すると
H30には基金残高がなくなる

公共施設を全て維持すると
さらなる収支不足

6 財政健全化の必要性・目標



7 財政健全化の取り組み項目

(1) 市役所内部の 取り組み

- ① 内部事務の効率化
- ② 人件費の削減
- ③ 歳入の確保

(2) 事務事業等の見直し

(3) 公有財産の 有効活用

- ① 未活用地の積極的売却
- ② 施設配置の適正化

(4) 受益者負担の適正化

8 現在進めている取り組み

◆ 意見交換会

みなさんのご意見をお聞かせください
市内6会場で開催

◆ 市と市議会との協議 財政健全化推進協議会

市と市議会が協力して取り組みます

◆ 市の事業 見直し案を公表

市が自主的に実施しているソフト事業についての見直し案を公表しています

◆ 公有財産の さらなる有効活用

未活用地の積極的売却貸付
公共施設白書の作成
施設の総量縮減に向けた検討